

# 学力テストは百害あって一利なし 国に学テ中止を要請すべき 遠藤氏、県議団ら県教委に申し入れ



日本共産党島根県議団は7日、鴨木朗県教育長に「国に全国学力テストの中止を求め、調査に参

加しないよう」に申し入れました。遠藤秀和党県政策委員長、尾村利成、大國陽介の両県議、地方議員ら8氏が出席しました。(写真)

参加者は「学テは子どものためになっていない。教育現場からも理解されていない」と述べ、①自校採点は実施しないこと②結果の公表はすべきではないこと③学テのためのお金は少人数学級推進などに使うことを求めました。

鴨木教育長は「子どもたちの学びの力の状況を把握するためによくできた調査。学テ実施を通じて一

## 地域の話題 アラコ

### 医療費無料化拡充 党市議の要求実現

安来市議会は3月22日、子どもの医療費無料化を中学卒業まで拡充し、学校給食費を就学援助の対象とすることなどを盛り込んだ予算を可決しました。

子どもの医療費助成では、所得制限なしで入院、通院、薬局での負担が4月からゼロに。就学援助事業も、4月から学校給食費が全額助成対象になりました。日本共産党の原田貴与子市議が求めていました。

### 南 学校給食無償化を 伊藤議員が質問

伊藤議員「日本社会での子どもの貧困が大

### 瑞穂中・体育館修繕 党町議質問が実る

きな社会問題になっている。本町における貧困率は明らかに高くなっていないが、就学援助を受けている児童生徒の割合は、昨年度は小学生で13・8%、中学生で10・9%という状況だ。

学校給食の無償化は、保護者の経済的負担軽減と同時に、子育てと未来ある子どもたちを支援し、子どもの学ぶ権利を保障するためにも重要と考える。小中学校の給食費の無償化を提案するかどうか。

山崎町長「適正で応

分の負担を頂くことが町の未来を担う世代、今の若者に対しての責務である。必要な方には手を差し伸べていると考

### 瑞穂中・体育館修繕 党町議質問が実る

瑞穂中学校の体育館の天井屋根からの雨漏りがひどく、数年前より学校現場から修繕の要望が出ていた問題で、邑南町は今年度、修繕を予算化しました。日本共産党の大和慶美町議が14年9月議会の質問で、転倒例も多いことを指摘し、事故防止へ早期の修繕を求めています。

石橋町長は「体育館の

雨漏りの修繕の優先度は高いと思う。(これまでは)安全面から耐震化を優先して取り組んできて完了した。修繕も財政を考慮しつつ、早めに改善したい」と答弁していました。

人ひとりの課題を把握することができ、個別の指導にも反映することができると強弁しました。

尾村氏は「一人ひとりの状況やつまづきを把握できるものではない。平均点を上げることが至上命令になっていくのが教育現場の姿だ。子どもたちには画一的で機械的な学習が押し付けられ、学ぶ意欲、喜びが奪われている」と反論しました。

大國氏は、教師への実情

## 「市民・野党VS安倍政権」の対決構図

### 主権者の意志で政治変える選挙に



調査で「採点した結果が返ってくるのに、コピー機を独占して自校採点するな」と述べました。

## 松江 民青・党県委が新入生と対話 政治への怒りや期待が次々に

民青同盟島根県委員会と日本共産党島根県委員会は5日、松江市の島根大学入学会の会場で宣伝しました。

村上万里民青県委員長、遠藤秀和党県政策委員長らが、民青新聞号外と新入生歓迎の学習会のビラを配布しながらシール投票を呼びかけ、対話

ど時間の無駄」と話すなど、現場の多忙に拍車をかけていると述べました。

「学費値下げ、奨学金の拡充」にも多くの期待が寄せられました。投票したうち、77%の新入生が「投票に行く」と答えました。村上県委員長は「海外の学費は安いことを知っている新入生も多く、関心の高さを感じました。引き続き宣伝して仲間を増やしたい」と話しています。

佐川(写真)、日高、いの、9日、高知市針木、神田で街頭演説。200名を超える聴衆に感動。主権者の意志で政治を変える歴史的選挙とともに。

8日、広島市の宮島へ。外国人観光客が8割。さすがに世界に誇る世界遺産・厳島神社です。海の中にそびえる鳥居の雄姿、焼き牡蠣にもみじ饅頭、桜も満開、人懐っこい鹿ちゃんもお出迎え。広島丸かじりの束の間の小旅行でした。

それにしてもスーツ姿の中年男が一人ではちばち写真撮っている姿、サミットの外相会談開催で厳戒態勢の警察のみならず、不審者扱いされなくでよかったです。

私のプロモーションビデオが完成しました。参院選の焦点と春名丸わかりの力作です。ぜひご覧ください。

(2016年4月17日付)

## 春名なおあき 参院比 予定候補

爽風

エッセイ

ウソとごまかし、秘密で固められたTPP交渉に批判爆発。国会に提出された交渉経過の文書はベッタリ黒塗り。一方、特別委員長の西川氏は「TPPの

真実」という本を執筆し、交渉経過に触れているという疑惑が浮上。野党が質そうとすると、ゲラの存在そのものを否定。挙句、安倍首相は「私は一度もTPP反対といったことはない」と開き直り。しかし、衆院北海道比例ブロックの選挙公報(12年)では、安倍首相の顔写真入りで「TPP断固阻止」と明記されています。民主主義はおろか、選挙そのものも全否定する傲慢不遜な態度に農業者もいまあきれ顔です。高知をはじめ各地のJAが自民党推薦をやめ、自主投票を決めています。

7日、首相のお膝元の山口県で統一候補誕生一顧(こうけつ)厚さん。3月まで山口大学の副学長を務めた知識人。「立憲主

義を頭から否定するアベ政治に対し、ただ大学人の立場から論ずるだけではないのか。『山口から日本を変える』礎になる決意をした」と高らかに出馬会見。沖繩、熊本、宮崎、長崎、鳥取、島根、徳島、高知、栃木、長野、山梨、宮城、青森に続き、山口でも「市民・野党対安倍自公政権」の構図ができました。

10日に開かれた5中総の討論では、山あり谷ありの統一候補決定過程の苦労が生々しく報告されましたが、この苦労は未来を拓く礎となるでしょう。

4日、須崎、四万十町、

